

これからの川崎市国際交流センターとその取り組み

川崎市の在住外国人人口は、2025年9月末に6万人を超えました。出身の国・地域は、約150か国・地域にわたっています。2027年4月からは育成就労制度が始まり、今後も、外国人人口が増えるとともに、長く日本に暮らす方が増えていくことが想定されています。

「多文化共生社会」の実現とともに、一人ひとりの国際理解がますます大切になっています。日本人と外国人が地域の中で共に安心して暮らし、自分らしく活躍できる社会になることを目指して、川崎市国際交流センターでは以下の取り組みを進めていきます。

多文化共生社会を推進する外国人市民に向けての取り組み

◎窓口相談

多言語で相談ができます。センターの窓口、電話、メール、オンラインでも可能です。予約はいりません。相談料も無料です。
※オンラインのみ要予約。

いろいろな手続きから生活の困り事まで、何でも相談することができます。

◎生活オリエンテーション・出張相談

川崎市で生活を始める外国人に、情報を提供し、相談を受け付けます。国際交流センターの日本語講座や各区市民館の日本語教室など、外国人が多く集まる場所で実施します。当協会のFacebook、「ハローかわさき」でご確認下さい。

◎日本語を学べる場

日本語講座：ゼロから上級レベルまで、グループで学べます。
火・金曜日の午前クラス*と水曜日の夜クラスがあります。
※1歳以上の子どもの保育あり。



生活にほんごサロン



日本語講座

生活にほんごサロン：ボランティアが1対1で日常生活に必要な日本語をサポートします。週末のみの活動を平日（火・金曜日の午前除く）にも拡げていきます。

外国につながる子どもの寺子屋：外国につながる小学生の居場所を目指し、日本語学習のサポートもします。

◎外国につながる子どもと保護者のためのプレスクール（小学校入学説明会）、高校進学ガイダンス、「市営住宅申込書」書き方説明会など

外国につながる子どもや家族に必要な情報提供もおこなっていきます。

外国人市民と一緒におこなう取り組み

外国人と日本人が共に体験し、交流できるイベントを開催します。外国人自身がボランティアとして活動できる場を増やします。

◎子どもたちへの取り組み（子ども語学教室／多文化体験事業／外国につながる子どもの寺子屋）

日本人やネイティブスピーカーの外国人ボランティアと共に、体験的な学びの場を提供します。



子ども語学教室



外国につながる子どもの寺子屋

◎多文化共生を考える場

多文化共生をテーマに、さまざまな出演者を迎えての講演会や映画上映などを開催します。

◎外国人と日本人が交流する場

国や地域を超えて、一緒にさまざまなことを学んで、体験できるイベントをおこないます。



外国人市民と交流する会



ポッチャ体験 外国人と共におこなう防災訓練 AED体験

◎多言語による情報発信

- ホームページの多言語自動翻訳を始めます。
- LINE公式アカウントでの多言語発信もおこなっていきます。

お知らせ ～『SIGNAL』終了と今後の情報発信について～

川崎市国際交流センターの機関誌として、国際理解並びに多文化共生社会の推進を目指して、さまざまな国・地域、その暮らしや文化、そして市民レベルの国際交流活動等の情報を提供してきた「かわさき国際交流センターニュース『SIGNAL』」は本号をもちまして終了いたします。これまでのご愛読、誠にありがとうございました。

今後は外国人市民に伝わりやすい情報提供を目指し、情報発信のデジタル化を推進するため、ホームページやSNSで、イベントや多文化共生への取り組みを発信してまいります。引き続き応援してまいりますよう、お願い申し上げます。



川崎市国際交流協会のホームページ



川崎市国際交流協会のFacebook



川崎市国際交流協会ブログ「センター歳時記」



12言語での川崎市内のニュース「ハローかわさき」



川崎市国際交流センターだより



図書・資料室だより